

令和4年度シラバス（外国語）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科(科目)	外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ)	単位数	4	学年(コース)	2学年 普通科(スポーツコース)
使用教科書	Power On English Communication II				
副教材等	フェイスバレット英単語・熟語<テーマ別>コーパス1800、コーパス1800チャンクマスターワークブック②(継続使用)、プリント教材、ベーシックジーニアス英和辞典第2版				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解する。また、言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解する。

2 指導の重点

- ・単語・熟語、構文を理解する。繰り返しによりそれらを暗記して自分のものとして定着させる。
- ・英語を聞く力を身につける。
- ・速読を通じて、ある程度の分量がある英文の概要をつかめるようにする。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	評価方法
4	Tips for Reading 1 Lesson 1 Take a Shot or Not	教科書 辞書 補助プリント	フレーズリーディング/句読法 It is [was] + 形容詞[名詞] + that 節 / 関係代名詞 what / 現在完了進行形	写真を撮ることが記憶に与える影響と 写真を撮らずに経験を記憶にとどめて おく方法について学ぶ。	10
5	Lesson 2 Ethical Fashion		助動詞+受け身/強調構文 / S+V+ O[=疑問詞+to不定詞]	エシカルファッション製品が何に配慮して 作られているか学ぶ。また、エシカルにな るために重要なことについて学ぶ。	5
5	Lesson 3 Landfill Harmonic		関係副詞 where / 過去完了形 / S+V [=使役動詞] + O+C[=原形不定詞]	ランドフィル・ハーモニックが始まっ た経緯やカテウラの子供たちにもたら している影響について学ぶ。	24
6	Lesson 4 Icons of Scotland		関係代名詞の非制限用法 / S+V [=知 覚動詞] + O+C[=現在分詞] / S + appear(s)[seem(s)] + to不定詞	スコットランドの地理やキルトに関す る歴史を理解するとともに、日本と関 連する事柄について学ぶ。	
7	Lesson 5 Japan's Secret Health Food		分詞構文(過去分詞)/倍数表現 / 直前 の文の内容を先行詞とする which / 形式 目的語 it [=to不定詞]	海藻が世界の国々で評価されている理 由や海藻の効能について学ぶ。	34
8	Lesson 6 Vegetable Factories		進行形の受け身 / It appears[seems] + that 節 / 未来完了形 / 譲歩を表す副詞 節	野菜工場での野菜の作り方や野菜工場 の利点・欠点について学ぶ。	
10	Lesson 7 The Power of Color		同格を表す接続詞 that / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞 whose の制限用法 / propose など + that + S+V [=動詞の原 形]	エッセイの構成要素(序論、本論、結 論)とその役割について学ぶ。 身の回りで使われている色の視覚的効 果と心理的効果について学ぶ。	20
11	Lesson 7 The Power of Color		同格を表す接続詞 that / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞 whose の制限用法 / propose など + that + S+V [=動詞の原 形]	身の回りで使われている色の視 覚的効果と心理的効果について 学ぶ。	12
12	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors		付帯状況を表す with / while[when] (+S +be動詞) / to + have + 過去分詞 / 助 動詞 + have + 過去分詞	平野美宇選手と伊藤美誠選手の経歴や 彼女たちが成功するために大切だと考 えていることについて学ぶ。	16
1	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors		1960年代のアメリカ合衆国で、長距離バスで旅する6人の若者たち が車中で知り合ったビンゴという男の物語を読んで、感じたこと を書いたり、話したりする。		7

計 128 時間 (55分授業)

4 課題・提出物

プリント等の綴じ込み用ファイルを配布する。考査ごとにノート、ファイルの提出を求める場合もある。

5 評価規準と評価方法

評価は考査等による。次の4つの観点で行う。

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、 積極的に言語活動を行い、コミュニ ケーションを図ろうとする。	②外国語表現の能力 英語で話したり書いたりして、情報や 考えなどを適切に伝えている。	③外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や 考えなどを的確に理解している。	④言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付 けているとともに、言語の背景にある文化 などを理解している。
---	--	---	---

授業中の活動に積極的に参加して、ノートを取る。素素の取り組みと考査等の点数で総合的に評価する。

6 担当者からの一言

このシラバス(授業の概要)は予定である。実際の考査や課題については、考査前や長期休業前にプリント等で連絡される範囲や内容を確認のこと。
英文の量や単語の難易度が上がってくるので、特に毎回の授業を大切にすること。英語習得のコツはまず、英文の音読につける。英文を何回も読み英語に慣れ親し
もう。自宅での学習のときには音読練習も含めた復習をしっかりとやること。そしてコツコツと努力することが大切。